

数 学

注 意

- 1 問題は **1** から **4** までで、4 ページにわたって印刷してあります。
また、解答用紙は両面に印刷してあります。
- 2 検査時間は 50 分で、終わりは午前 11 時 00 分です。
- 3 声を出して読んではいけません。
- 4 解答は全て解答用紙に H B 又は B の鉛筆（シャープペンシルも可）を使って明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えに根号が含まれるときは、根号を付けたまま、分母に根号を含まない形で表しなさい。また、根号の中を最も小さい自然数にしなさい。
- 6 答えは解答用紙の決められた欄からはみ出さないように書きなさい。
- 7 解答を直すときは、きれいに消してから、消しくずを残さないようにして新しい解答を書きなさい。
- 8 受検番号を解答用紙の表面と裏面の決められた欄に書き、表面については、その数字の  の中を正確に塗りつぶしなさい。
- 9 解答用紙は、汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

1

次の各問に答えよ。

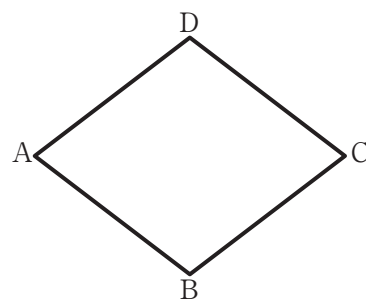
〔問 1〕 $(\sqrt{5}-\sqrt{3})(\sqrt{5}-\sqrt{2})+(\sqrt{5}-\sqrt{3})(\sqrt{3}+\sqrt{2})$ を計算せよ。〔問 2〕 連立方程式 $\begin{cases} 2x-3y=1 \\ 7x+9y=10 \end{cases}$ を解け。〔問 3〕 二次方程式 $(x-3)^2=4x^2$ を解け。

〔問 4〕 家から目的地まで 1200 m の道のりを、家を出てから最初の 5 分は分速 a m で歩き、
その後は分速 b m で走り、家から目的地まで 10 分で到着できた。
 b を a の式で表せ。

〔問 5〕 最小値 21, 最大値 47, 中央値 30 である値の異なる 8 個のデータがある。
この 8 個のデータについて、第 1 四分位数が 27, 第 3 四分位数が 37 であるとき、
平均値を求めよ。

〔問 6〕 右の図で、四角形 ABCD はひし形である。

解答欄に示した図をもとにして、 $\angle ABC = 120^\circ$ の
ひし形 ABCD を 1 つ、定規とコンパスを用いて作図し、
頂点 C, 頂点 D の位置を示す文字 C, D も書け。
ただし、作図に用いた線は消さないでおくこと。



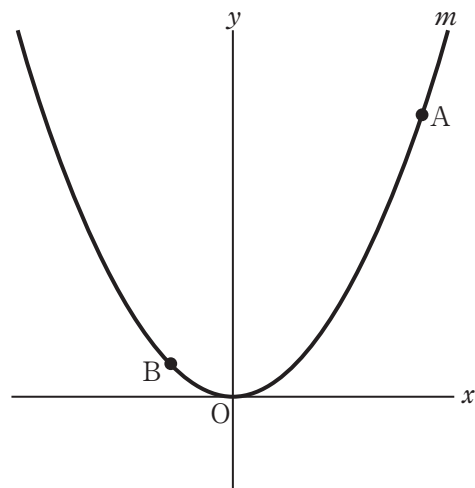
2 右の図 1 で、点 O は原点、曲線 m は関数 $y = ax^2$ ($a > 0$) のグラフを表している。

点 A、点 B はともに曲線 m 上にあり、点 A の x 座標は 3、点 B の x 座標は -1 である。

点 O から点 (1, 0) までの距離、および点 O から点 (0, 1) までの距離をそれぞれ 1 cm として、次の各問に答えよ。

〔問 1〕 $a = \frac{1}{2}$ のとき、2 点 A、B を通る直線と y 軸との交点の座標を求めよ。

図 1

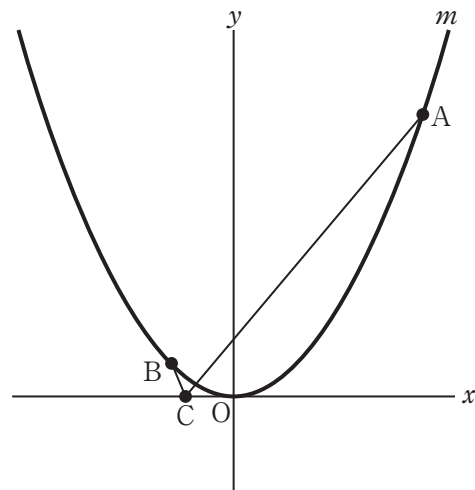


〔問 2〕 右の図 2 は、図 1 において、 x 軸上にある点を C とし、点 A と点 C、点 B と点 C をそれぞれ結んだ場合を表している。

$a = 2$ とし、線分 AC の長さを k cm、線分 BC の長さを l cm とする。

$k + l$ の値が最小であるとき、点 C の x 座標を求めよ。

図 2



〔問 3〕 右の図 3 は、図 1 において、点 A と点 B を結び、線分 AB と y 軸との交点を D、曲線 m 上にあり、 x 座標が -3 である点を E、 x 座標が t である点を F とし、点 A と点 E、点 B と点 E、点 D と点 E、点 D と点 F、点 E と点 F をそれぞれ結んだ場合を表している。

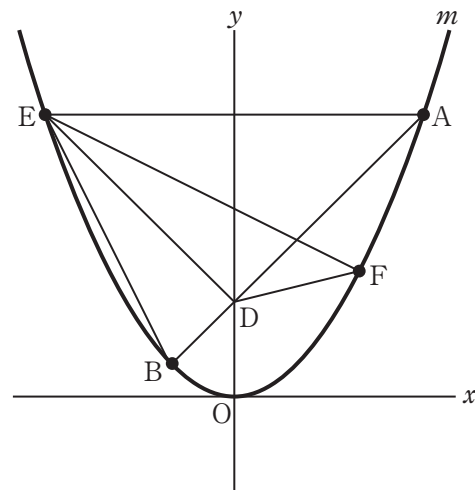
$a = 1$ のとき、次の (1)、(2) に答えよ。

(1) $\triangle AEB$ の面積は何 cm^2 か。

(2) $\triangle BDE$ の面積と $\triangle DFE$ の面積が等しいとき、 t の値を求めよ。

ただし、 $t > 0$ とし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、途中の式や計算なども書け。

図 3



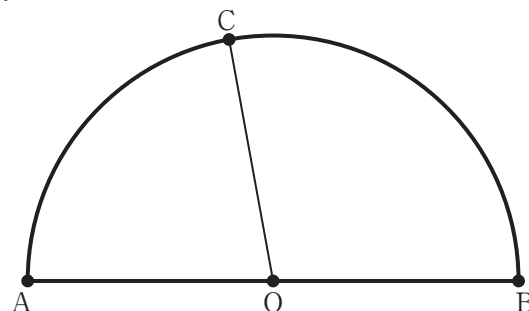
3 右の図1で、点Oは、線分ABを直径とする半円の中心で、点Cは、 $\widehat{AB}$ 上にあり、2点A、Bのいずれにも一致しない点である。

点Cと点Oを結ぶ。

$OC = 2\text{ cm}$ 、 $\angle AOC = 80^\circ$ として、

次の各問に答えよ。

図1



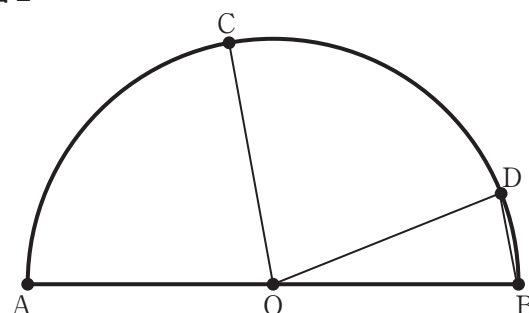
〔問1〕 図1において、 $\widehat{AC}$ の長さは何cmか。

ただし、円周率は π とする。

〔問2〕 右の図2は、図1において、 $\widehat{BC}$ 上にあり、2点B、Cのいずれにも一致しない点をDとし、点Bと点D、点Dと点Oをそれぞれ結んだ場合を表している。

$CO \parallel DB$ のとき、 $\angle COD$ の大きさは何度か。

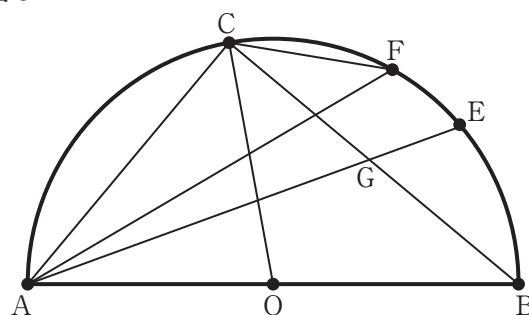
図2



〔問3〕 右の図3は、図1において、 $\widehat{BC}$ 上にあり、 $\widehat{BE} : \widehat{EC} = 2 : 3$ 、 $\widehat{BF} : \widehat{FC} = 3 : 2$ となる点をそれぞれEとFとし、点Aと点C、点Aと点E、点Aと点F、点Bと点C、点Cと点Fをそれぞれ結び、線分AEと線分BCとの交点をGとした場合を表している。

次の(1)、(2)に答えよ。

図3



(1) $\triangle ACF \sim \triangle AGB$ であることを証明せよ。

(2) $\triangle ACF$ の面積を $S\text{ cm}^2$ 、 $\triangle AGB$ の面積を $T\text{ cm}^2$ とすると、

$S : T$ を最も簡単な整数の比で表せ。

4

右の図 1 に示した立体 $A-BCDE$ は、底面が正方形で側面が二等辺三角形の正四角すいである。

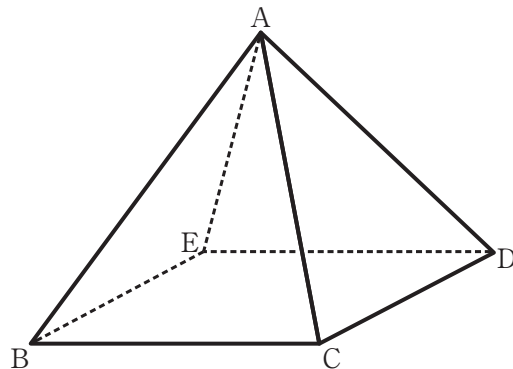
$AB = 6\text{ cm}$, $BC = 4\text{ cm}$ として、

次の各問に答えよ。

〔問 1〕 図 1 において、頂点 B と頂点 D を結んだ場合を考える。

$\triangle ABD$ の面積は何 cm^2 か。

図 1



〔問 2〕 右の図 2 は、図 1 において、辺 AB 上にあり

$AF = 2\text{ cm}$ となる点を F 、辺 AC 上にあり

$AG = 2\text{ cm}$ となる点を G 、辺 AD 上にあり

$AH = 2\text{ cm}$ となる点を H 、辺 AE 上にあり

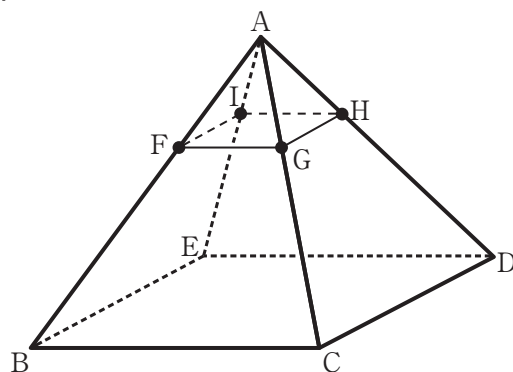
$AI = 2\text{ cm}$ となる点を I とし、点 F と点 G 、

点 F と点 I 、点 G と点 H 、点 H と点 I を

それぞれ結んだ場合を表している。

四角形 $FGHI$ の面積は何 cm^2 か。

図 2



〔問 3〕 右の図 3 は、図 1 において、辺 AD の中点を M 、

辺 AE の中点を N とし、頂点 C と点 M 、頂点 C

と点 N 、点 M と点 N をそれぞれ結んだ場合を

表している。

次の (1)、(2) に答えよ。

(1) 線分 CN の長さは何 cm か。

(2) 立体 $A-BCDE$ の体積を $V\text{ cm}^3$ 、

立体 $M-ACN$ の体積を $W\text{ cm}^3$ とするとき、

$V:W$ を最も簡単な整数の比で表せ。

ただし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、途中の式や計算なども書け。

図 3

